

2019年度 法科大学院

第4期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

次の事例における X の罪責について論じなさい（但し、特別法違反の点は除く）。

大学生 X は、同級生 V との折り合いが悪く、V から因縁をつけられては、現金を取られていた。先日は、V から「金を出せよ。」と申し向けられて、肩を揺すられ、腕をひねり上げられたので、やむなく 5000 円を提供していた。

ある日、X が、大学から自宅に帰ろうとしたところ、前方に V が、こちらを見て立っていることを認めた。X の進路は、最寄り駅までの最短ルートであり、帰宅後の用事进行处理するために、X は、そのルートで駅まで行きたいと考えたが、このまま進むと、また V から因縁をつけられて金を奪い取られるであろうことも予想された。

X は、そのまま進行したところ、V から、「この前の 5000 円では足りない。1 万円をよこせ。」と言われ、V は X の腕をねじ上げ、X の足を蹴り始めた。そこで、X は、V からひどい仕打ちを受けた際には反撃するために所持していた果物ナイフで、V の太ももを刺した。V は大量に出血し、その場に倒れ、病院に緊急搬送されたが、その後、死亡した。

（解答は全て解答用紙に記入すること）